

この命輝け

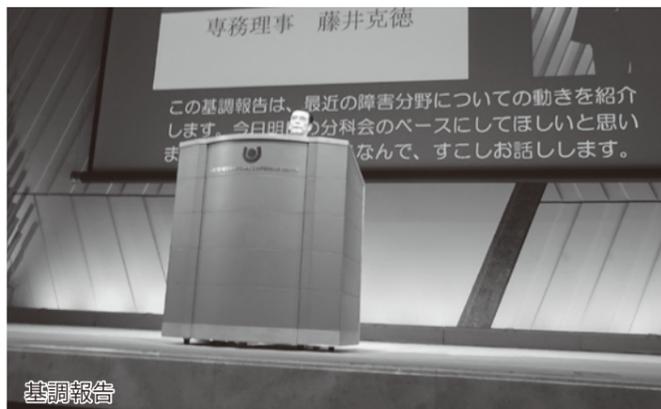
2018年11月号

発行 みやづ作業所・すまいる
伊根の里・ホームすみれ

きょうされん第41回全国大会in京都



大交流会



基調報告



国際シンポジウム



理事長あいさつ

9月21日～22日、きょうされん第41回全国大会がこの京都で開催され、会場の国立京都国際会館には過去最高の約5500名の参加者が全国から集まりました。また大会を支えるボランティアも約800名来ていただきました。大成功に終わることができました。

今回の大会のメインは障害者権利条約採択当時の議長を招き、国際シンポジウムを開催できたことです。このことはメディアにも大きく報道され、日本の障害者福祉にとって大きな前進となりました。また9つの分科会ではそれぞれのテーマを熱く論議し、利用者企画ではケロポンズのスTEEジや組み紐、京扇子づくりなどの体験コーナーで楽しく過ごしました。

最後になりましたが、大会開催に際しまして多額の運営資金が必要でしたが、ここ宮津・伊根地域においても、多くの協賛金をいただきましたこと、厚くお礼申し上げます。

「新グループホーム」来年度開設に向けて

連日、真夏日となった今年の酷暑もすっかり落ち着き、秋を感じる今日この頃ですが、障害者グループホーム「ホームすみれ」の隣では、いよいよ新たなホーム建設のための工事が始まりました。9月13日(木)には、地鎮祭が執り行われ、理事長を始め、当法人関係者と入居予定の利用者の皆さん、そして工事関係者の皆さんに参加していただく形で、揃って工事の無事を祈りました。待ち望んだ新しいホームが本当に建つんだなあという実感が湧いてきます。

そして、ここから来年の3月竣工に向けてホーム建設工事が本格的に動き出します。利用者の皆さんも新しいホームを心待ちにしています！



自分にご褒美!!

伊根の里では毎日、宅配弁当・下請け・資源回収などの作業を頑張っています。「頑張っている自分にちょっとだけご褒美を!!」という事で、余暇支援の取り組みに行ってきました。いつもとは少し違う装いの皆さん、外食して満腹になり、カラオケでは美声を響かせ、ボーリングではガーターで苦笑い・・・でした。明日からの活力につながる取り組みでした。



伊根の里

支える会が地域と一緒に!

宮津・伊根地域の作業所を支える会です。この10月、支える会は、積極的に地域の皆様と関わりを深めるための取り組みを進めました。

10月13日(土)には宮津市内の鶴賀、新浜、魚屋、本町、万町、宮本町、文珠の7地区の皆様にご協力いただき、地域資源回収を実施することができました。また、10月28日(日)には、伊根町うみやーもん祭りに参加し「オムそば」の販売に挑戦する予定です。

この号が発行される頃には「うみやーもん祭り」は終了していますが、当日はよい天気です。多くの皆様にお越しいただければと願っています。

更に、来年3月21日(木・祝)に実施

予定の「着物バザー」は、現在、着物をお譲りいただける地域の皆様のもとへ回収に回らせていただいているところです。回収は11月まで続きますので、是非、ご協力ください。

※着物回収に関してのお問合せは、みやづ作業所0772-22-7254(担当:西原)までお願いします。



支える会

丹後美術工芸展 「奨励賞」受賞!

毎年、陶芸班では丹後美術工芸展(9/21～9/23)に利用者の自主作品を出展しています。

今年は丹後美術工芸展の陶芸部門で、片岡弘成さんと福西裕仁さんが『奨励賞』に選ばれました。それぞれ「面白さにブレがない作品」、「自分の一番好きなものが伝わる作品」という評価で見事受賞されました。次は、宮津市文化祭(11/2～11/4)に出展しますので、ぜひみんなの作品をご鑑賞ください(^^)



みやづ作業所

畑仕事がんばってます

畑仕事が気持ち良い季節になりました。宮村の畑ではサツマイモの芋づる収穫や白菜の定植で大忙し。芋づるは宮津市の学校給食センターに納品し「芋づるご飯」の材料になりました。スーパー「にしがき」さんの店頭や「自然とふれあうノウフクマルシェ」でも販売しています。10月半ばになるとサツマイモ収穫も始まりますのでこちらもよろしくお祈りします。



すまいる